

御寄附をいただいた企業へのインタビュー



「文化財通信」では、寄附者様へのインタビューを通じて、京都の文化や文化財に対する想い、そして「文化財を守り伝える京都府基金」への御意見などをお聞きしています。

今回は、徹底した顧客第一主義で、生活をより豊かにするインテリアを提案する、家具・インテリアの専門店「株式会社マナビインテリアハーツ」大阪本部の方にお話を伺いました。

○ 株式会社マナビインテリアハーツとは、どのような企業でしょうか。

当社は、「よりよいものをお求めやすく」にこだわりながら、「お客様の為に尽くす」をはじめとした5つの信条を掲げ、皆様の生活に安らぎと潤いをお届けできるよう、お客様に寄り添った家具・インテリア用品の企画、販売を行っております。

令和3年12月現在は全国19店舗を展開しており、令和4年春頃には20店舗目となる吉祥院店（京都市）のオープンを予定しています。



「お客様の生活に常に寄り添い、潤いを与えられるように」という想いが込められたロゴマーク

○ 企業版ふるさと納税を活用した京都府地域創生推進事業「文化レジリエンス事業」へ御寄附いただいた理由について教えてください。

高槻市に店舗を設け20年ほど経ちますが、非常に多くの京都府からのお客様にご利用頂いております。新型コロナウイルス感染症の影響を受け観光客等が減少し、日本の守るべき文化財を多数お持ちの京都の文化財所有者様の現状に危機感を感じておりました。

当社のコロナ需要による利益は「地元関西の一員として、地元へ恩返しをしたい」という想いから「京都の文化財を守るために役立てて頂きたい」と今回の寄附に至りました。

なお、「大阪府新型コロナウイルス助け合い基金」へも寄附を行っております。



○ 文化財所有者の皆さんへメッセージをお願いします。

文化財を維持管理していくということは、過去からの財産を守り未来へ伝えていく奉仕に近いものがあると思います。それ故の相当な御苦労もあるかと思っております。

これからも地元関西の一員として、お力添えができればと思っております。